

平成25年度事業外部評価の平成26年度事業内部評価状況について

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
3	公共交通利用促進事業	地域公共交通会議運営事業	経営管理課
平成25年度事業外部評価意見			
<p>平成26年度事業内部評価の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共交通政策を実施していく会議運営として評価することが必要。 ◆公共交通総合連携計画の目標値は人口増加率を加味して、さらに上げることが妥当である。 ◆OD調査の結果や、それをどう事業に反映させたかという点も評価すべき。 ◆オンデマンド交通の導入などの斬新なアイデアの検討が必要ではないか。 ◆N-バスの運行状況について、お年寄りやスマートフォンを使わないので工夫の検討を。 			

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
-	職員の人材育成に関する事務事業	人事評価制度支援業務委託	人事課
平成25年度事業外部評価意見			
<p>平成26年度事業内部評価の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人事評価制度の評価項目が多すぎる。 ◆アンケート実施や苦情に対応する制度を作り、職員が納得できるものにする必要がある。 ◆行政評価票の成果指標は見直すべきである。 ◆部署によりウエイトを変えてもよいのでは。 ◆人事評価制度は日々改善を進めてほしい。 <p>※平成25年度で当該事務事業は終了している。</p>			

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
16	長久手市観光交流推進事業補助金	イルミネーション事業(「ながくて冬まつり」の実施)	たつせがある課
平成25年度事業外部評価意見			
<p>平成26年度事業内部評価の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆屋間のファミリー向けイベントや、クリスマストレインの増発などを検討したらよいのでは。 ◆イルミネーション事業の成果指標を観光交流人口とすることは適切ではない。 ◆広く市民の意見が反映されるような実行委員会となるようにしてほしい。 ◆観光交流基本計画の見直しを行い、新たな事業への展開を検討してほしい。 ◆費用対効果の検証を。 ◆「訪れてよし、住んでよし」という視点を持った活動が結びつくことで連携が図られる。 			

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
52	平成こども塾事業	全事務事業	生涯学習課
平成25年度事業外部評価意見			
<p>平成26年度事業内部評価の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今後も活動の拡充や利用者満足度向上に力を入れた持続的な活動を期待する。 ◆ボランティア・サポートの確保・育成が重要である。 ◆「平成こども塾」という子どもの育ちの場が市内の諸所で展開されることを望む。 			

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
57	文化事業業務	ホール公演事業	文化の家

平成25年度事業外部評価意見

- ◆単なる数字だけの評価ではなく、質の向上を。
- ◆市民が関わる事業で文化の家について広報したらよと思う。
- ◆定員の充足率の目標値は、過去の状況から最大値を目標とすべき。
- ◆観客目線での満足度調査が必要。
- ◆評価Bの事業の改善という評価であれば、事業予算は減らすべきではない。
- ◆定性的評価を行うことも必要である。
- ◆マスタープランの見直しを常に行う必要がある。

- 平成26年度事業内部評価の状況
- ①成果指標の変更を行った。
(過去3年の平均定員充足率 → 満席を事業の成果目標とする)
 - ②H27年度評価から、成果指標を見直す予定。
(質の向上を測るため、アンケート調査による参加者の満足度を指標とする)

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
71	地域支援事業(介護予防事業)	介護予防事業	長寿課

平成25年度事業外部評価意見

- ◆口腔ケア教室、回想法教室、栄養改善教室は親しみやすい名前にした方がよいのでは。
- ◆要介護・要支援の人を少なくすることが目的であるので、その目的にあった成果指標を設定する必要がある。
- ◆他課との連携が必須になる。
- ◆地域で茶話会を行ったかどうか。

- 平成26年度事業内部評価の状況
- ①成果指標の変更を行った。
(教室参加率 → 当該年度末の高齢者人口に対する介護予防教室に参加した二次予防事業対象者)

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
100	木造住宅耐震事業	全事務事業	都市計画課

平成25年度事業外部評価意見

- ◆全国一律の目標値ではなく、市の現状を反映した目標の設定を。
- ◆事業の進め方に問題点があるので、改善すべきである。
- ◆事業の概要の目標などが事務事業の目標と視点と異なっている。
- ◆事務事業を改善している点を評価できる指標を設定するとよい。
- ◆内部評価Aは妥当ではない。

- 平成26年度事業内部評価の状況
- ①事業の概要、対象、意図を変更した。
(耐震事業全体の目標 → 木造住宅耐震事業の目標)
 - ②事務事業の目的を変更した。
(全国一律の目標値(耐震改修の促進) → 市の診断事業を受診、改修工事を実施)

事業番号	事業名	事務事業名	担当課
122	図書館運営事業	全事務事業	中央図書館

平成25年度事業外部評価意見

- ◆市の市民一人当たりの年間貸出件数が年々下がっているため、市に合わせた目標値の設定が必要。
- ◆市民一人当たりの年間貸出件数の低下理由を把握し、図書館利用促進を。
- ◆ボランティアの育成及びPRIに力を入れて欲しい。
- ◆60代以上の高齢者に重点を置いた蔵書を充実して欲しい。

- 平成26年度事業内部評価の状況
- ①成果指標の変更を行った。
(市民一人当たり貸出件数 → 市民貸出件数、実利用者数(在住、在勤、在学、在園者))
 - ②図書回収搬送委託を開始した。
(西小校区共生ステーション、福祉の家の2か所へブックポストを設置し、開館日は毎日回収)